

日本学術会議 公開シンポジウム

ヒトの社会と愛

～ラミダス猿人化石からわかること～

2011年2月6日(日) 14:00-17:00

場所：東京大学 理学部2号館 大講堂（下記地図を参照ください）

14:00-14:05 主催者あいさつ

14:05-15:05 講演：ラミダス猿人化石の全容
諏訪元（東京大学総合研究博物館 教授）



15:05-15:35 コメント

馬場悠男（国立科学博物館 名誉館員）
山極寿一（京都大学理学研究科人類進化論 教授）
中務真人（京都大学理学研究科自然人類学 教授）

15:35-15:50 休憩

15:50-16:30 講演：ヒトにおける性差：生物学と文化の交差点
長谷川真理子（総合研究大学院大学 教授）



16:30-17:00 全体討論

自然人類学の研究の中心は、現在でも化石骨の研究です。2009年、アフリカで発見されたラミダス猿人の研究成果が一連の論文として日本の研究者を含む国際チームによって発表されました。その成果には、ラミダス猿人の男女差が小さいという、人間の特徴がすでに現われていました。そこで、ラミダス猿人の研究に長年取り組んでこられ、2010年には朝日賞を受賞された諏訪元教授に講演していただき、さらにヒトの性差についての考察を、長谷川真理子教授にさせていただきます。社会と愛の両面から、数百万年にわたる人類進化を立体的に議論する機会になればと考えております。

主催

日本学術会議自然人類学分科会
日本人類学会
東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻
東京大学総合研究博物館

共催

日本霊長類学会
日本文化人類学会

連絡先

国立遺伝学研究所 集団遺伝研究部門
斎藤研究室

Email saitour@lab.nig.ac.jp

電話 055-981-6790

<http://anthropology.lab.nig.ac.jp/>

